

公務員総研

【日本の行方不明者は年間 8 万件】日本で発生している「行方不明」の傾向と、増加する子どもの誘拐事件について(2020 年 11 月調査)

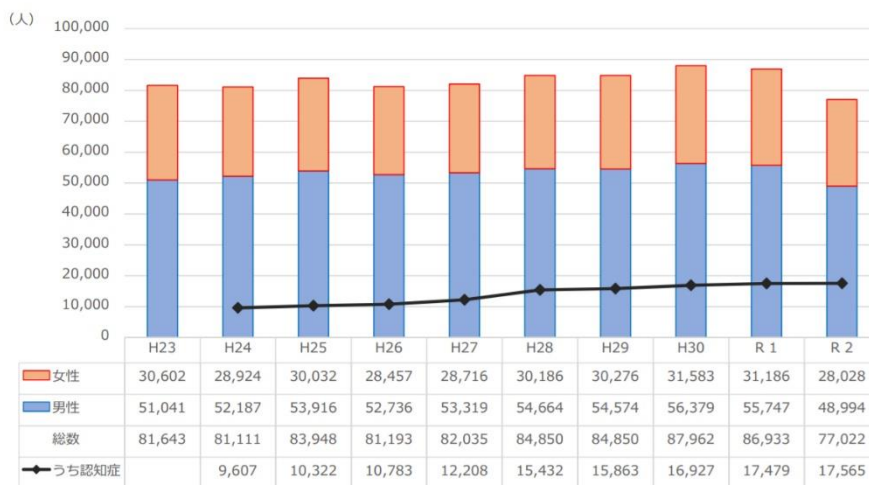
日本の行方不明者についてのポイント

- 1) 行方不明者数は 10 年間よこばいの 8 万件
- 2) 70 歳以上で「認知症」等が原因の行方不明者が増加中
- 3) 行方不明者のうち、みつかっているのは約 86%
- 4) 日本の子どもの誘拐が増えている(アメリカでは桁違いの子どもが行方不明)

* 本データは 2020 年 11 月調査時点の情報です。

警察庁が発表している「行方不明者の状況」。10 年間ほぼ同じ傾向。

■ 行方不明者数の推移



[注記]

- 1 行方不明者数は、警察に行方不明者届が出された者の数であり、延べ人数。
- 2 認知症は、行方不明者届受理時に届出人から、認知症又はその疑いにより行方不明になった旨の申出のあった者。

出典) [警察庁 | 行方不明者](#)

警察庁は毎年、日本国内での「行方不明者の状況」を発表しています。その報告書によると、行方不明者の人数は、約 8 万件で、過去 10 年間ほぼ横ばいで推移しているようです。

年齢別に見てみると最も行方不明者数が多いのは、20 歳代ですが、近年では 70 歳代以降が増加傾向にあるようです。

▼参考 URL: [警察庁 | 行方不明者](#) (外部サイト)

高齢者の「行方不明」の原因で多いのは「認知症」

70 歳代以上の「行方不明者」が増加している原因として、最も多いケースが「認知症」を患っているケースです。行方不明者全体の 20% が認知症か、その疑いによる症状によって、行方不明になったと認定されています。

人口 10 万人あたりで行方不明者の割合が多いのは 20 歳代と 10 歳代

2018 年(平成 30 年)の人口 10 万人あたりの行方不明者数は、20 歳代が 147.6 人と最も多く、次いで 10 歳代が 145.3 人と特に若い世代に多いことがわかります。

そして 9 歳以下の子どもについては 10 万人あたり 12.1 人でしたが、全国の総数では 1,216 人もの子どもたちが行方不明になったと発表されています。

そのうち、ほとんどの方は発見されているようですが、それでも日本国内の 9 歳以下の子どもの「行方不明者数」は、2015 年には 10 万人あたり 8.7 人だったところから、2018 年には 12.1 人まで増えており、年々増加しているようです。

行方不明者の所在確認の状況は？ ⇒ 約 86% は見つかっています。

日本の「行方不明者」の所在確認の状況について、警察庁の発表によると、2018 年に「所在確認」されたのは約 86%、「死亡確認」が 4.5%、「その他」が 9.4% でした。

「認知症」が原因で行方不明となった方に限定すると、約 96% は発見されています。

■ 行方不明者の所在確認等の状況

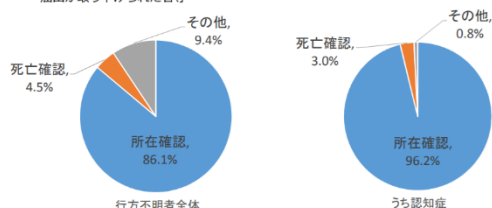
| | 30 年中の所在確認等の総数 | 所在確認 | | 死亡確認 | | その他 | |
|---------|----------------|--------|-------|-------|------|-------|------|
| | | 構成比 | 構成比 | 構成比 | 構成比 | | |
| 行方不明者全体 | 84,753 | 72,949 | 86.1% | 3,833 | 4.5% | 7,971 | 9.4% |
| うち認知症 | 16,866 | 16,227 | 96.2% | 508 | 3.0% | 131 | 0.8% |

所在確認・・・警察又は届出人等において所在が確認された者

※ 構成比は小数第 2 位以下四捨五入

死亡確認・・・警察において死亡が確認された者

その他・・・届出が取り下げられた者等



出典) [平成 30 年における行方不明者の状況について](#)

子どもの「行方不明」と事件の数 ⇒ 1日3-4人が行方不明に

2018年に9歳以下が1年に約1200人も行方不明になっていることが統計情報からわかります。おおよそ1日に3~4人行方不明になっているという計算となります。

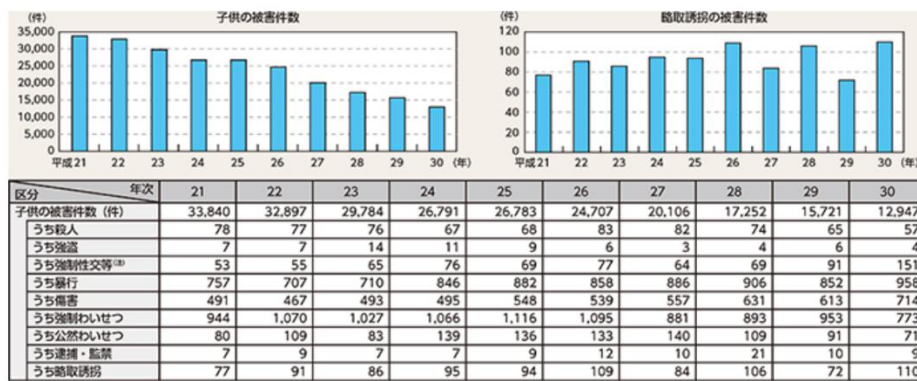
子どもがいなくなる原因では、家族関係のトラブルが多く、具体的には家出や、置き去り、離婚した親や親族間による連れ去り、外出先ではぐれてしまう、などがその例です。

2018年の子どもの「誘拐」の被害件数は110件

一方で、13歳未満の子どもが「略取誘拐」の被害者となった件数は、2018年に110件にのぼっています。

子どもが被害者になる犯罪件数全体は減少しているものの、誘拐の被害に遭う件数は増えているようです。

■ 子供(13歳未満)の被害件数及び罪種別被害状況の推移(平成21~30年)



注：刑法の一部が改正（平成29年7月13日施行）され、強姦の罪名、構成要件等が改められたことに伴い、「強姦」を「強制性交等」に変更した。

出典) [子供の安全を守るための取組](#)

【日本と比較】世界の子どもの「行方不明」「誘拐」の状況

世界では、日本よりも子どもが誘拐などの犯罪に巻き込まれるケースが多い国もあり、問題になっています。

例えば、アメリカでは1日あたり2,000人の子どもが行方不明になっているという統計もあるということで、13歳未満の子どもの一人歩きは、たとえ昼間であっても禁止されています。

もし子どもを1人にさせると警察に通報され、親は何かしらの刑罰を受ける事になるので、注意が必要です。

▼参考 URL: [中国新聞 | 米国 子の誘拐や不明 絶えず](#)(外部サイト)

ベトナムでは組織的犯罪による誘拐から子どもを守るよう、警察が学校に通達

また、ベトナムでは、近年、中国国境地域の街で臓器奪取を目的とした誘拐が相次いでいることから、警察が地域の小学校などに警戒を促す文書を送付しています。ベトナム警察当局によると中国人犯罪グループによる犯行とみられるようです。

ベトナムでは特に 1 人である子どもがターゲットになりやすく、子どもを 1 人にしないよう呼びかけられています。

▼参考 URL: [SMG ネットワーク\(中国における臓器移植を考える会\) | ベトナムの中越国境で臓器目的の誘拐、現地警察が警告](#)(外部サイト)

まとめ – まだ世界に比べると安全な日本ですが、子どもの誘拐の増加に注意

このページでは日本国内の「行方不明者」の状況とその原因、年齢別の状況についてご紹介しました。

認知症による高齢者の行方不明者数は増えていますが、ほとんどの方が行方不明届を受理された当日か、数日以内には所在確認されており、警察の捜索や対策の呼びかけ等がうまく機能していることがわかります。

また、行方不明の原因として「誘拐」の被害件数が増えている子どもの状況を、世界の国々の状況と併せて解説しました。

日本では、世界の国ほど子どもの 1 人歩きが禁止されていることも無く、それによって犯罪に巻き込まれたりすることはまだ少ない状況と言えますが、それでも子どもが「誘拐」される件数や、「行方不明」になる件数は増加傾向にあります。

日本でも、子どもを犯罪から守るため、「行方不明」にさせない工夫が必要な時代になってきているようです。警察や行政の対応とあわせて、個々人の予防・対策についてもより考えていく必要があります。

本記事は、<https://koumu.in/articles/201119> をもとに PDF ファイルにしたものです。

著作権はすべて公務員総研に帰属します。